

組報

みなみそ

第9号

2010(平成22)年3月1日

特集
P4-5

浄土真宗本願寺派東京教区南組 大田区本羽田3-17-6 海岸寺内 TEL.3742-0921

親鸞聖人の教え

他力が大事 悪人を救済 仏になる私



平成大修復が完成して11年ぶりに本山・御影堂で営まれたご正忌報恩講

目次

- P2 — 仏婦総会・研修会
- P4-5 — 特集・親鸞聖人の教え
- P6 — 連続研修会
- P7 — 団体参拝旅行
- P8 — 食事の言葉

P8 今年の行事

映画「おくりびと」で伝えたかったこと P3 仏教壮年講座

平成22年10月2日
親鸞聖人750回大遠忌

お待ち受けて

「がばい」

講演会

島田洋七さん



仏教総会・研修会

「気付いた今日から はじめの一步」

講師

教育心理カウンセラー

富田 富士也 氏

甘える勇気をもとう

僕の大好きな歌があるんです。

これは仏教讃歌だと思えます。

『はじめの一步』という曲です。

信じることを 忘れちゃいけない

必ず朝は おとずれるから

ぼくらの夢を なくしちゃいけない



です。人は孤独です。孤独だから繋がるんです。それを子供たちにも伝えなきゃいけない。

皆さん甘えられますか。甘える

には勇気がいります。どんな勇気か。それは信じる勇気です。それが無かつたら絶対に人は他人に甘えることはできません。

甘えるってことは素直になること

です。甘えられない人は捨て鉢、

やけっぱちになります。そして姑息な甘え方をします。

僕たちは甘える勇気を学んでこ

なかつた。

「ちよつとね、もやもやしてる

部分もあるんだけど、本当は坊守

さんに聞いてほしいの。ご住職さ

んに聞いてほしかったの」そう言

えばいいんです。

甘えるってことを学んでこない

と、どこかで意地を張ってしまう

んですね。寂しいですね。

でも、他人に声かけるときに一〇

〇%受け入れてくれる保証なんか

これっぽっちもないんです。傷つ

く可能性を秘めながら、それでも

自分独りでは生きていけないから

よう。



甘えるんですよ。

だから僕たちは、『人間、最後

にどうすることも出来ないときは、

「たすけてください」と素直に甘

えるんだよ』って。命ある限り、

子供たちに、孫たちに、若者たち

に、これから私たちの命を継承し

てくれる人たちに伝えていきまし

よう。

人はこの世に誕生した「おぎやあ」と生まれたこの瞬間から、避けがたき現実を背負わなくてはなりません。それは孤独ということ

作詞・新沢としひこ
作曲・中川ひろたか

〔二〇〇九(平成二十一年)六月八日
築地本願寺講堂 参加者八十八人〕

「いのちを考える」

映画・おくりびとによせて

講師

作家

青木 新門 氏

後生の一大事に向き合う

私が葬儀の現場で納棺専従社員として働いていた頃のことを『納棺夫日記』という本に著したのが一九九三年の春でした。

その年の秋頃、俳優の本木雅弘さんから文章を引用させて頂きたいとの連絡がありました。それが本

ある後生の一大事の部分が切られ、「おくりびと」の中では今生の一大事しか描かれていないからです。

七高僧の一人である源信僧都が十五歳の時に、村上天皇により法華八講の講師の一人に選ばれました。そのとき天皇より頂いた褒美の織物を故郷の母に送ったところ、母は源信僧都を諫める和歌を添えて品物を送り返したそうです。

「後の世を渡す橋とぞ思ひしに

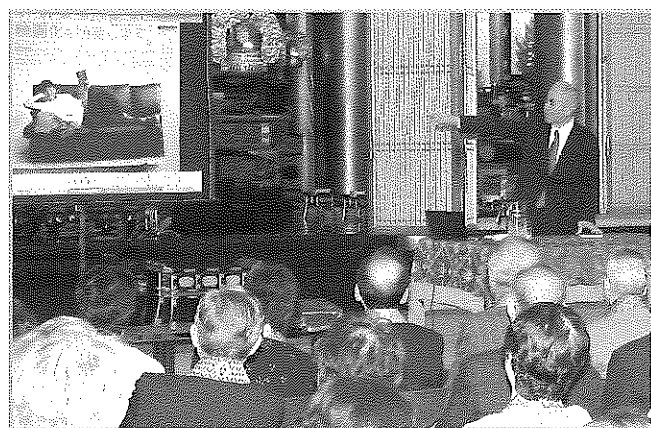
世渡る僧となるぞ悲しき

まことの求道者となり給へ」

源信僧都の母の言葉を借りれば、後の世を渡す一慮になればという

思いで綴った『納棺夫日記』の一番大切なところがバツサリと切られた作品になっていました。「おくりびと」は人の絆や家族の絆、生者と死者のつながり、それすら忘れがちな今日の社会において、大事なことを思い出させてくれる素晴らしい作品です。

しかし、映画作品としてどんなに素晴らしい賞を頂き、褒められ



たとしても、それは「おくりびと」という作品であって、『納棺夫日記』ではありません。

人間は安心して生まれ、安心して育ち、安心して死んで行けたら、これ以上の幸せはありません。逆にどこへ行つたかわからないというのが一番不安なのです。いのちがつきた後のこと、後生の一大事に真正面から向き合うのが宗教の本質でありましょう。

二〇〇九年平成二十二年十月十日
築地本願寺・本堂 参加者百二十七人





浄土真宗

親鸞聖人の教え

私たちの浄土真宗本願寺派(お西)は、末寺が全国に約一万余

寺、ご門徒は約一千万人おられます。真宗大谷派(お東)とあわせますと日本最大の伝道教団です。その開祖・親鸞聖人は、「他力本願」、「悪人正機しよくき」、「往生浄土」という、とても大切な教えを説いてくださいました。しかし、そのどれもが誤解されていることが多いのです。皆さんはいかがですか？

他力本願

たりきほんがん

他力は如来の願い

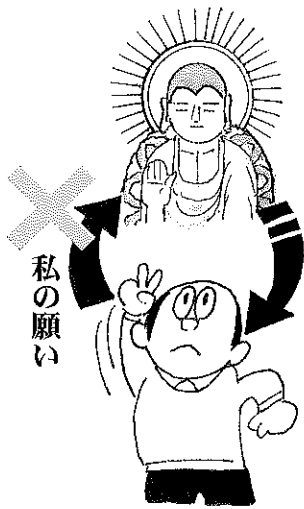
一般的に「他人の力をあてにする、他人まかせにする」という意味で使われていますが、これは大変な誤解です。この言葉は浄土真宗において、教えの根幹に関わる重要な言葉です。

親鸞聖人は「他力といふは如来の本願力なり」と示されています。他力とは他人の力ではなく、阿弥陀如来のはたらきをいいます。すべての人を救いたい、生きとし生けるものを救わずにはおれない、という阿弥陀如来の願いなのです。私たちの欲望を満たすためのお願いではありません。

「南無阿弥陀仏」は、私の願いや祈りの言葉ではなく、阿弥陀如来のはたらきに対しての報恩感謝のお念仏なのです。

誤解して使っていませんか？

如来の願い



私の願い

浄土真宗の教え、考え方

- 事柄 → 今を生きる私への教え
- 行わない。阿弥陀如来の救いを通して先祖を偲ぶ
- ご本尊・阿弥陀如来を安置するため
- う → 行わない
- 無用
- の吉凶 → 迷信だから信じない
- 死は不浄ではないから使わない

往生浄土

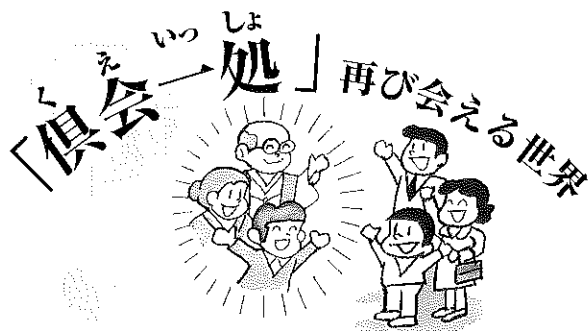
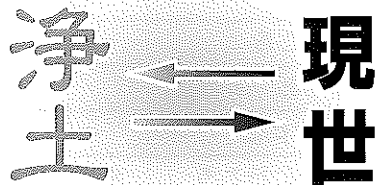
おうじょうじょうど

往生とは、お浄土に往生かえ生まれることです。よく使われる、「往生際が悪い」「立ち往生」など、物事が行きづまったり、動きがとれなくなることはありません。

お念仏を称えさせていたでいてる私たちは、必ずお浄土に生まれて仏にならせていただけます。そして再び、迷いの世界であるこの世に還り、苦悩多き人々を救うはたらきをさせていただけます。

大事なことは、この人生において阿彌陀如来の願いを受け入れること、信心を得てお念仏する身とならせていただくことです。阿彌陀如来の願いは、すべてのいのちのあるものが対象です。「往生即成仏」。私もあなたも命終るその時は必ず仏にさせていただきます。何日もさまよったりすることはありません。

必ず仏になる私



俱(とも)に一つの場所(=お浄土)で出会うことで、経典「阿彌陀經」にある言葉です。往生したら、先に往生されたご先祖や親しい人たちに再会できるということです。

浄土真宗では死んだらおしまいではありません。再び会える世界がある、なんだか嬉しく、安心できますね。

悪人正機

あくにんしやうき

凡夫への救い

「善人なほもつて往生をとぐ。いはんや悪人をや」。歎異抄に出てくるとても有名な言葉です。これを、悪いことをしたほうが救われると考えるはいけません。

私たちは毎日、様々な生き物のいのちをいただきながら生きています。心によこしまなことを思ったり、巡り合わせによっては、どんな恐ろしいことでもしてしまいます。

そんな愚かな私と気付くことができれば、謝ることも、悔い改めることもできますが、そのほとんどが、気付くことなく日々暮らしているのではないのでしょうか。

こうような自己の有り様に気付かせられた姿を、ここでは悪人といひ、この悪人と目覚めていく私こそが、阿彌陀如来の救いの目当てなのです。



一般常識? 思い込み?

誤解されやすい!

死者や先祖のための宗教	仏教
先祖のためや、タタリなどを恐れて行う	追善供養
先祖をまつため	家のお仏壇
宗教の役割の一つ	まじないや祈と
願いごとをする、災難から逃れる	お守り・お札
生活に取り入れ、結果におびえる	占い・墓相・家相・日
死の不浄を清める	清め塩

第五期 連続研修会 全十二回



昨年四月から始まった連
研(門徒推進員養成連続
研修会、全十二回)も前半が
終了しました。

この連研は、教えや伝統
を講義で学ぶだけではなく、
参加者同士が疑問や意見を
出し合う『話し合い法座』
が中心です。

今回は四十八人の門信徒
が参加され、お茶とお菓子
を楽しみながら、和気あい
あいとした雰囲気の中で、
親鸞聖人の教えなどについ
て語り合っています。

おつとめを唱和したり、
仏教讃歌の練習、真宗の作
法なども学んでいます。

来年二月まで開催してい
ます。興味のある方は見学
にお越し下さい。

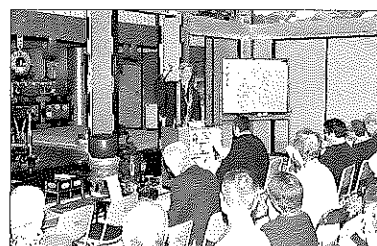
連 研 目 程 表

回	開催日	会 場	問 い	備 考
第7回	平成22年 4月17日	正 覚 寺	お浄土はどんなところ	
第8回	6月19日	福 称 寺	悪人とは誰のこと	
第9回	9月 4日	光 教 寺	争いや差別をなくすには	
第10回	10月 2日	築地本願寺	がばいばあちゃん お寺に行こう	大遠忌お待ち受け
第11回	12月 4日	真 光 寺	生きることの意味	
第12回	平成23年 2月19日	築地本願寺	これからのお寺とは	修了式

※基本的に土曜日の午後2時から。

総代・世話人研修会

総代・世話人研修会は四月十一日
に光教寺で行われ、総代や世話人な
ど三十七人が
出席。東京教
区教務所長の
山内教嶺氏が
「新しい教章
について」と題
し、経緯や意義
などを話しま
した。



門信徒会運動研修協議会

門信徒と僧侶が課題を共有して寺
院や組の活性化などについて話し合
う門信徒会運動研修協議会は二月二
十八日、最徳寺で開催され、僧侶や門
信徒三十一人が参加しました。

東京教区相談員の松本智暉氏が「開
かれたお寺を目指して」と題して講
演。お寺の現状や課題を紹介しなが
ら、将来の寺院活動を示唆しました。

敬 申

唯称寺前住職

新作 幸枝師(九十五歳)

平成二十一年九月十六日

団体参拝報告

越前四箇本山と金沢

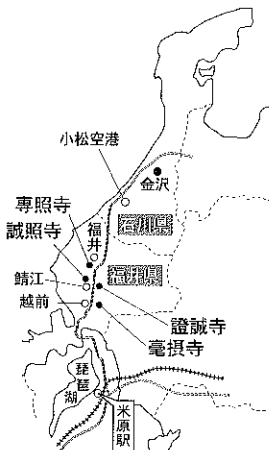
浄土真宗のめぐりご本山巡り

今回の団体参拝は、親鸞聖人七百五十回大遠忌を間近に控え、聖人の足蹟をたどろうと、十月二十一日から二泊三日の日程で、福井県にある「越前四箇本山」、真宗出雲路派の毫撰寺、真宗誠照寺派の誠照寺、真宗三門徒派の専照寺、真宗山元派の證誠寺を参拝。門信徒や僧侶三十一人が参加しました。

各本山は雪深い土地ならではの工夫された造形の外観と、繊細で華麗な内装が印象的で、多くの人々のご苦労と喜びに支えられた歴史と伝統の重みを実感しました。

金沢市内にも立ち寄り、観光地の東茶屋町を散策したり、近江町市場で買い物するなど旅を満喫しました。山代温泉では懇親会が行われ、参加者がそれぞれ自慢の歌声を披露するなど、賑やかに過ごしました。

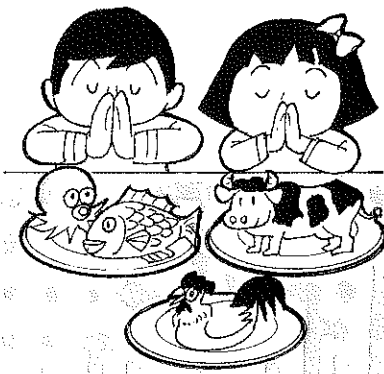
参加者の細井久夫さん(妙覚寺門徒)は「どのお寺も大きく、北陸における信仰の篤さを感じた」、山本カズエさん(西教寺門徒)は「お寺の旅行は初対面の人とも親近感があって楽しい」と感想を話していました。



(食後のことば)

【食事】
 尊たっといおめぐみを
 おいしくいただき、
 ますます御恩ごおん報謝ほうしゃにつとめます。
 (同音)
 おかげで、
 ごちそうさまでした。

新しい 食事のことば



「ご恩」を喜ぶ

「食事のことば」が約50年ぶりに見直され、このほど新しくなりました。

私たちの日々の食事は、多くの動植物の犠牲の上に成り立ち、直接、間接的に多くの人たちのご苦勞のおかげでいただけています。今ここにいる私を、必ず救うと願い、支えてくださっている阿弥陀様のご恩を喜び、願いに応えて、精一杯に生きていきましょう。

(食前のことば)

【食事】
 多くのいのちと、
 みなさまのおかげにより、
 このごちそうをめぐまれました。
 (同音)
 深くご恩ごおんを喜び、
 ありがたくいただきます。

今年の主な行事

●南組仏教婦人会連盟総会・研修会

六月十一日(金曜) 午後二時三十分

講師||布教使・東保流節談説教者

谷口 璽照氏

落語や講談の源流となった「節談説教」を
 いただきます。

会場||築地本願寺・講堂

●親鸞聖人七百五十回大遠忌

南組お待ち受け法要

十月二日(土曜) 午後二時

法要と記念講演

講師||タレント 島田 洋七氏

テーマ

「がばいばあちゃん

お寺に行こう」

会場||築地本願寺・本堂



来年はご本山へお参り

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要

平成二十三年六月九日(木曜)

南組に所属する浄土真宗本願寺派(お門)のお寺です

西光寺	さいこうじ	品川区大井4-22-16	☎ 3777-6070	延徳寺	えんとくじ	大田区萩中1-12-17	☎ 3732-1472
最徳寺	さいとくじ	大田区大森北3-18-25	☎ 3761-6811	福称寺	ふくしょうじ	大田区萩中1-12-20	☎ 3738-1720
徳浄寺	とくじょうじ	大田区大森東1-16-22	☎ 3761-4127	妙覚寺	みょうかくじ	大田区萩中1-12-29	☎ 3738-3091
厳正寺	ごんしょうじ	大田区大森東3-7-27	☎ 3761-4945	善永寺	ぜんえいじ	大田区萩中1-11-24	☎ 3739-5641
久宝寺	きゅうほうじ	大田区本羽田3-17-1	☎ 3742-0886	真光寺	しんこうじ	大田区萩中1-13-6	☎ 3731-5644
海岸寺	かいがんじ	大田区本羽田3-17-6	☎ 3742-0921	浄興寺	じょうこうじ	大田区東矢口2-10-9	☎ 3759-8673
福泉寺	ふくせんじ	大田区萩中3-27-10	☎ 3742-2048	唯称寺	ゆいしょうじ	品川区小山4-9-15	☎ 3782-2486
光教寺	こうきょうじ	大田区中央4-35-3	☎ 3771-9408	宗導寺	しゅうどうじ	目黒区目黒本町6-19-3	☎ 3712-6811
専浄寺	せんじょうじ	世田谷区等々力6-7-10	☎ 3701-4753	西教寺	さいきょうじ	品川区豊町1-8-12	☎ 3781-6154
報身寺	ほうしんじ	大田区萩中1-11-16	☎ 3738-0870	善照寺	ぜんしょうじ	大田区南馬込4-9-11	☎ 3771-8700
正覚寺	しょうかくじ	大田区萩中1-13-13	☎ 3731-9212	永正教会	えいしやうきやうかい	目黒区鷹番2-17-5	☎ 3714-0767